

監査報告書

平成23年6月20日

国立大学法人神戸大学
学長 福田 秀 樹 殿

国立大学法人神戸大学

監事 石村 秀一

監事 鈴木 基史

私ども監事は、国立大学法人法第11条第4項及び同法第35条において準用する独立行政法人通則法第38条第2項の規定に基づき、国立大学法人神戸大学の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの第7期事業年度における財務諸表、事業報告書及び決算報告書について監査を行った結果、協議のうえ、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

監事は、国立大学法人神戸大学監事監査規則の定めるところに従い、役員会その他の重要な会議に出席するほか、役員等から事業の報告を聴取し、重要な決裁書類を閲覧し、各部門責任者からは業務処理の状況を聴取するとともに、書面、証憑書類の査閲により、これを確かめるほか、事務局及び主要な部局等において財産の状況を調査いたしました。

また、会計監査人から報告及び説明を受け、財務諸表、事業報告書及び決算報告書について検討を加えました。

2 監査の結果

- (1) 有限責任あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。
- (2) 事業報告書は、業務運営の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 役員職務執行に関し、不正の行為または法令もしくは規程に違反する重大な事実は認められません。

以上